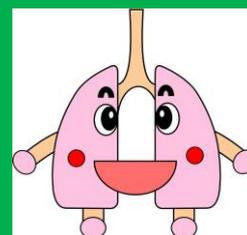


## 多摩府中保健所感染症週報

平成30年第49週（12月3日～12月9日）



肺えもん

## 今週の傾向

- ★感染性胃腸炎の報告数が引き続き増加しています。
- ★伝染性紅斑は、引き続き警報開始基準値レベルを越えて高めに推移しています。
- ★手洗い・咳エチケットを行い、飛沫感染や接触感染を予防しましょう。

## ● 定点把握対象疾患・定点医療機関当たりの報告数

定点	疾患名	多摩府中保健所管内		東京都内	
		第48週	第49週	第48週	第49週
インフルエンザ	インフルエンザ	0.82	1.28	0.94	1.57
小児科	RSウイルス感染症	0.10	0.10	0.25	0.23
	咽頭結膜熱	0.76	0.85	0.44	0.48
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.81	4.20	3.24	3.48
	感染性胃腸炎	12.33	12.70	10.81	12.04
	水痘	0.71	0.50	0.76	0.56
	手足口病	0.57	0.30	1.13	0.82
	伝染性紅斑	2.52	2.95	2.19	2.39
	突発性発しん	0.86	0.70	0.52	0.47
	ヘルパンギーナ	0.10	-	0.07	0.08
	流行性耳下腺炎	0.10	0.25	0.10	0.13
	不明発しん症	0.29	0.20	0.08	0.06
	川崎病	-	-	0.01	0.03
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	-	0.59	0.34
基幹	細菌性髄膜炎	0.33	0.33	0.04	0.04
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	1.00	0.33	0.68	0.32
	クラミジア肺炎（オウム病除く）	0.67	-	0.12	-
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	-	-
	インフルエンザ（入院）	0.67	0.67	0.60	0.12

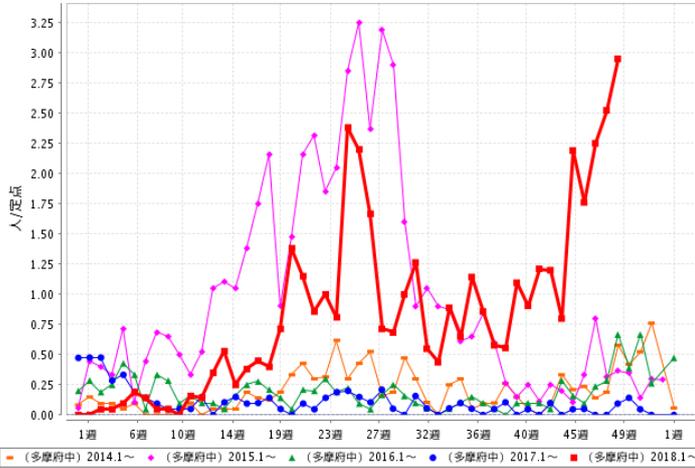
※平成30年1月第1週より百日咳が定点把握対象疾患から全数把握疾患に変更されました。

今週の状況 …過去5年間の比較

赤線は2018年第49週までの定点当たりの報告数

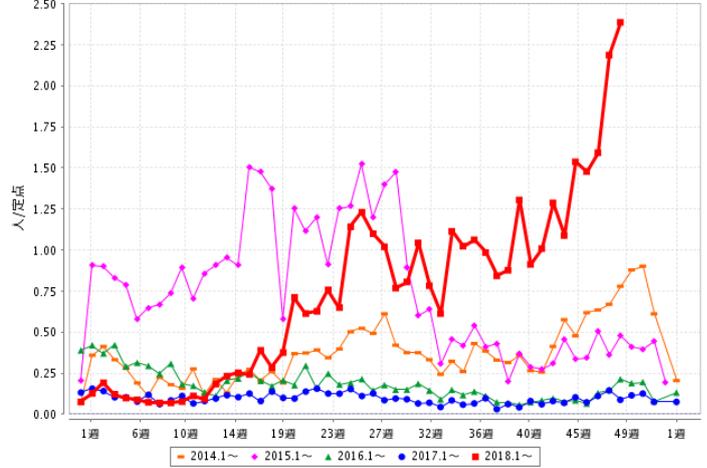
●**伝染性紅斑**・**引き続き、警報基準値レベルを越えて発生数が推移しています。**

多摩府中保健所管内



(C)2002-2018 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

都内



(C)2002-2018 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

### ★インフルエンザの報告数が増加しています

第49週（12月3日～12月9日）の東京都のインフルエンザ定点からの患者報告数は654人、定点当たり1.57人と先週（0.94人/定点）より増加しました。

多摩府中保健所管内でも定点当たり1.28人と増加しており、流行開始基準の定点当たり患者報告数（1.0人）を超えています。



◆ 手洗い、咳エチケット、予防接種による感染予防を行いましょう。

◆ 東京都のインフルエンザ情報はこちらから

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/flu/>

※東京都感染症情報センター「WEB感染症発生動向調査」を基に作成しています。

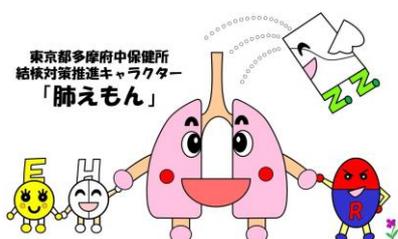
※定点把握対象疾患とは？：発生動向の把握が必要なもののうち、患者数が多数で、全数を把握する必要のないものです。感染症法第14条により、都道府県は「指定届出機関（定点医療機関）」を指定し、指定届出機関は、対象疾患について患者の発生状況を届け出ることになっています。

参考) 指定届出機関（定点医療機関）

インフルエンザ定点：管内33機関（都内419） 小児科定点：管内21医療機関（都内262）

眼科定点：管内3機関（都内39）

基幹定点：管内3医療機関（都内25）



多摩府中保健所 保健対策課 感染症対策担当  
TEL：042（362）2334（代表）

検索 多摩府中 感染症週報